

《和歌山市学校教育指針》
 ○確かな学力の育成
 ○道徳教育の充実
 ○健やかな体の育成
 ○特別支援教育の充実
 ○不登校・いじめ問題の解消
 ○子供の安全確保の徹底
 ○地域と共にある学校づくりの推進

《保護者・地域の願い》
 ○学校からの情報発信を増やしてほしい。
 ○読書好きの子供を増やしてほしい。
 ○情報モラルについて、保護者にも啓発してほしい。
 ○地区の子供を守る会の方々と意見交換を行い、登下校の状況を把握してほしい。
 ○親子で体験できる活動を取り入れてほしい。

【 学校教育目標 】
 心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

【めざす児童像】

1年:だれとでもなかよくできる子
 2年:なかよくたすけあう子
 3年:よく考え、助け合う子
 4年:助け合い、ともに伸びる子
 5年:自分で考え、進んで行動する子
 6年:責任をもって意欲的に行動する子

《前年度の学校評価》
 ○情報発信の手段や方法について課題がある。
 ○道徳教育を継続して充実させてほしい。
 ○学習内容に合わせ、紙とデジタルの併用、それぞれの利点を生かした授業の展開。
 ○基礎学力の定着、国語の読解力の向上。
 ○算数の少人数学習を継続してほしい。
 ○児童の話合いを重視した授業改善を行ってほしい。

《児童の実態》
 ○素直で明るく活動的である。
 ○あいさつができる児童が増えている。
 ○学年が上がるにつれ、自尊感情が低下する傾向にある。
 ○どの学年も比較的落ち着いて学習に取り組んでいるが、基礎学力の定着と書く力に課題がある。

重点目標	<p>地域とともにある学校 ◎学校だより・ホームページの発行・更新を通して、学校の情報を発信していく。 ○地域の方々との交流を計画的・積極的に進める。</p>	<p>豊かな心 ◎図書館教育の推進を継続する。 ○道徳教育を計画的に進める。 ○豊かな体験活動の充実を図る。</p>	<p>確かな学力 ◎子供たちの話合い活動を重視した授業改善に努める。 ○基礎学力の定着を目指す。 ○算数の習熟度別少人数学習を行う。 ○中学年で教科担任制を導入する。</p>	<p>健やかな体と安全の確保 ◎児童の安全確保のために、感染症及び熱中症への対策を十分に講じつつ、これまでの取組を計画的に行う。 ○定期的な避難訓練に加え、集中豪雨時の危険個所を把握できるようにする。 ○体力の向上を目指す。</p>
具体的な取組	<p>◎校長の思いや願い、学校の方針や考えを学校だよりやホームページに載せることで、保護者の学校への関心を高めるとともに、理解と協力を得られるようにする。 ○本校の公開指標に則して、ホームページを適宜更新していく。 ○開放月間の目的を積極的に告知して来校者を増やす。 ○保護者・地域の方に学校へのボランティア活動を依頼するとともに、校長自らが積極的にコミュニケーションを図っていく。</p>	<p>◎子供達の素直な気持ちを伝え合う場となるよう、話合いを中心に据えた道徳の授業を創っていく。 ○これまでの経験を生かして学校図書館の環境づくりを継続し、読書活動の充実・推進を図る。 ○学校や家庭、地域の場において、児童が体験活動を行えるように工夫する。 ○清掃活動やあいさつ運動を大切にす。</p>	<p>◎話合いを中心に据えた研究授業を行う。 ◎6年生の算数において、習熟度別少人数学習を行い、学習意欲を高める。 ○基礎学タイムに行う内容を校内で統一する。 ○市や県からの配付・配信されたテスト・問題等を確実に実施する。</p>	<p>◎こまめな水分補給など熱中症への対策を理解させる。 ○換気・手洗いの徹底を継続する。 ○地震・火災・不審者侵入に対する避難訓練を計画的に実施する。 ○集中豪雨時の危険個所について情報共有する。 ○登下校時の安全に対する意識を高めさせる。 ○保護者や地域に情報を早く正確に伝えることに努め、理解と協力を仰いでいく。 ○外遊びや夏休みのラジオ体操を推奨する。</p>
指標	<p>学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」において、『思う方』の回答が75%を超える。</p>	<p>・図書室への総入室者数⇒前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。</p>	<p>県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。</p>	<p>学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」において『思う方』の回答が85%を超える。</p>

◎・・・重点的に取り組むこと